

オーストラリアのエッセンスが3分で分かる

清水の

# 豪援隊かわら版



清水ヒデキ

豪援隊隊長・

弁護士・移民コンサルタント  
(MARN: 9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンド大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。

## ＜今月のお店紹介＞ 肉巻き本舗プリズベン店

みなさん、あの宮崎名物の肉巻きおにぎりがプリズベンでも手軽に味わえるというのはご存知でしたか？そう、あのサニーバンクに肉巻きおにぎりのお店が出店しました。日本でもブームで、あちらこちらで偽者(?)を見かけるようになりましたが、ここのお店は真正正銘宮崎本店の分家。こちらのオーナーの方、1年以上宮崎の本店で修行をしてオーストラリア出店をされました。そのため、味間違いなく本物です。お奨めは、チーズ肉巻きに唐辛子とコリアンダーのトッピングのスペシャルバージョン。皆様もプリズベンへお出かけの際は立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



### ＜営業時間＞

月～水・金曜日  
11a.m.～7:30p.m.  
金曜日  
11a.m.～8p.m.  
土・日曜日  
11a.m.～6:30p.m.

Shop 17, 261  
Warrigal Rd,  
Eight Mile Plains  
QLD 4113  
Tel: 07 3219 9587



## ＜今月の発見＞

プリズベン市内のおすし屋さんの数の多いこと。

その数、半端じゃありません。ひょっとしたら、面積辺りの数は、日本よりも多いかも。(おいしさは別ですよ。)

## ＜今月の視点＞ Recession (景気後退) is coming ! ?

### 景気後退？

ここで一つ冗句(ジョーク)を一つ。「世の中が不景気だと分かるときは、隣の人が仕事を失った時。不況がやってきたのがわかるのは、自分の仕事がなくなったとき。(アメリカのジョークより)」

今オーストラリアを騒がしているのは Recession(不景気)です。アメリカの債権格下げ、株式市場の暴落等、あらためてアメリカの与える影響の大きさを思い知ることになりましたが、好況を続けているオーストラリアでも、その余波を受けて、現在公定歩合の下方調整が噂されています。つい先日まで年末までには利上げをするという話とは、180度変わってしまいました。それだけ、経済や市場の動向というのは予測が付きにくいということでしょう。

8月の大きなニュースとしてオーストラリアの大手製鉄会社の BlueScope Steel 社が 1000 人の従業員を解雇するという話がありました。資源業界は好況のはずなのに、思われる方があってしようが、製鉄会社においては海外の安い製鉄会社に太刀打ちできず、人員削減をしなければいけないということです。この記事を書いている 8 月 24 日の時点では資源採掘会社である BHP Billion 社が同社にて解雇された 800 人を再雇用するという表明をしているとニュースになっています。まさに、好況の資源業界と同じように好況の資源業界に見えても異なる製造業の明暗をくっきり示しています。資源ブームの恩恵を受けられないと厳しい現在のオーストラリア市場を表しています。

さて、ここで経済学の勉強です。Recession(景気後退)とはどのような意味でしょうか。一般的に見られる定義としては、2 四半期以上、継続して経済成長がマイナスになることを示すということです。つまり、半年以上にわたって経済成長が止まってしまうと、景気後退と判断をするということです。そのため、今回のような急激な市場の暴落だけでは「景気後退」とは判断されないのですが、この余波がどれだけの期間、どれくらいの規模で継続するかによって「景気後退」か、どうかは判断されることになりそうです。

### ゴールドコーストの経済は？

先日お話をしたゴールドコーストの会計士の方曰く、ゴールドコーストはすでにこの 1.2 年 Recession 状態であると仰っていました。観光地であるゴールドコーストのような都市では、残念ながら資源業界の恩恵を受けにくいということでしょう。

右上に続く→

通常、経済の状態が良ければ、その分、観光やその他の娯楽にお金が回るのですが、現在はオーストラリアの経済の実情として、そこまでの余裕がなくなってきているようです。その反面、ゴールドコーストから 1 時間ほど離れていないプリズベンでは各資源会社が事務所を構えているということもあり、比較的資源業界の恩恵を受けているためか、ゴールドコーストほどの不況ではないようです。先日招待を受けて行ったプリズベンリバー沿いの高級レストラン(一人 \$300 ほどらしいです…)ではお昼時の時間でしたが、背広姿のビジネスマンのランチで一杯でした。だけど、我々日系企業からしますと、ゴールドコーストが元気がないと、少し淋しいというのが正直な気持ちです。少しでも、日本の方にゴールドコーストに来てもらえるようにしたいものです。

### カーボン税とギラード政権

ギラード政権も「カーボン税」の売り込みには、かなり苦勞を続けています。その中で労働党議員の不祥事により、ひょっとしたら補欠選挙かという事態も生じています。首相もその議員の不祥事をかばっていますが、さすがにかばいきれるような不祥事ではない気がします。(どのような不祥事か、知りたい方はご連絡ください。)しかし、あくまでもかばっていかねばならない理由として、労働党政権が連立政権であり、一議席を万が一失うことになると政権を失うことに繋がるという背景があります。ただでさえ、支持率が著しく低下している労働党政権ですが、このスキャンダルならびにギラード首相の対処の仕方ではますます支持率を落とすことに繋がります。次の総選挙を待たずに選挙ということもありえるかもしれません。カーボン税はおそらくそのまま導入されるだろうというのが大方の見方でしたが、まだまだ分からないのではというのが当方の見解です。とにかく、カーボン税はオーストラリア人には支持されていません。この前、あるパーティーでお会いした 84 歳のオーストラリア人の方、バリバリの労働党サポーターだったそうですが、今回のカーボン税には大反対。その理由はとお聞きしたら、「何となく受け入れられない。」とおっしゃいました。実は、この何となくというのが一番こわいのです。フィーリングと拒否反応が出てしまうものって、どうしても論理的にその利を説明されても受け入れられなくなってしまいますからね。

オーストラリアも、日本と同様いろいろな格差が今まで以上に開いてきているのではと思われます。そして、以前日本で流行った「価格破壊」みたいな言葉も、こちらのお店の広告でちらほら見られるようになりました。まだまだオーストラリアからは目が離せません。今月の視点でした。

### <今月のキーワード>

こちらの新聞読むときに助かる用語集。

GFC - Global Financial Crisis (世界的金融危機)

Recession - 不景気

Bi (Bye または By) Election - 補欠選挙

RBA - Reserve Bank of Australia (オーストラリア中央銀行)

Asylum seekers - 亡命希望者

今月は3つの注目記事についてコラムしています。

### <今月の注目記事 その1 >

Sunday Mail 2011年8月21日付

GFC finally tilts real estate sales (世界金融危機がついに不動産市場を傾けた。)

今月の注目記事も経済に関連してです。この記事によれば、今まで2008年の金融危機もあまり影響を受けなかったQLD州の不動産市場もついに不況の影響を受けだしていると伝えています。ブリスベン市場も現在5%減で、2006年レベルの市場にまで落ち込んでしまったということです。居住物件の建築数平均年間2万件も減っており、多くの人が新しい家を建てることよりも、増改築を行う方を選択したとしています。これも生活コストが著しく上昇していることが影響しているとしています。

その反面、やはり資源業界強しという記事もありました。同日のSunday Mail紙では不動産市場がオーストラリア全体的に減速している一方で、天然ガスの街で知られるQld州のGladstoneという街ではガス田とその周辺インフラ整備のために数多くの労働者が移り住んでいることも手伝い、年率10.8%の不動産価格の上昇をしているということです。しかも、賃貸物件の空き室率も0.6%と、ほとんど空き室がない状態が続いているということで正に資源業界恐るべしです。

### <今月の注目記事 その2 >

Courier Mail 2011年8月31日付 - 「High Court scuttles Julia Gillard's Malaysia solution for asylum seekers (ギラード首相のマレーシアとの亡命者問題解決策、最高裁により蹴られる)」

ますますギラード政権の行く先を危ぶむ一大事が伝えられました。ギラード政権が打ち出した亡命者対策として、オーストラリアへの亡命希望者をマレーシアに送り、その代わりにマレーシアから難民を受け入れるという計画が進めていました。年間800人の亡命希望者をマレーシアに送り、4000人の難民を受け入れるという計画です。その交換プログラムの第一弾が8月7日にオーストラリアを出港する予定でしたが、亡命者から裁判所への申し出により、その判決が出るまでは中止となっていました。そして、その判決が同月31日に最高裁より、マレーシアに亡命者を送り出すことは違法とする判決が出されました。(右上に続く)

(続きより)

根本的な問題としてマレーシアが国連の亡命者に関する条約に批准していないことから、十分に人権が尊重される保証がないという判断でした。ポーエン移民相は、次の対策を打つことを迫られておりますが、基本的には政治的にこの一件はギラード政権には大きな打撃を与えることになりそうです。この判決に対する控訴はすることができませんが、専門家の見方は再度異なる国と似たようなプランを立てることで、政府としての面目を果たそうとするだろうとしています。

前政権が行っていたNauruでの亡命手続きセンターの再開を、あれほど反対し、マレーシア案を提示したギラード政権ですが、結局再度Nauru手続きセンターの再開も選択肢に、今後の判断が迫られることになりそうです。その良し悪しは別にして、国民の感情が今のオーストラリアの不透明な経済情勢の中で、カーボン税を提案しているギラード政権に対してストライクコールをしたばかりで、今回の件、国民も感情的にストライクツーツーを出したようで、ますますギラード政権の支持率は下降の一途を辿っているようです。

### <今月の注目記事 その3 >

ABC Online 2011年9月2日付

今月の注目記事その2でのギラード政権のストライクツーツーに対して、急激な支持率低下が問題となっているギラード政権のなかで、ギラード首相のリーダーシップに対しても労働党内からも疑問視されはじめています。もともと、国民からの人気が高かったラッド首相を陥れて首相の座についたと云われているギラード首相だけに、彼女自身がここにきて首相の座から蹴落とされるのではという見方が広がっています。次期候補としてStephen Smith議員、Greg Combet議員、そしてラッド元首相の名前も挙がっているそうです。またラッド議員が首相に返り咲くなんてことが起これば、正にシェークスピアのような悲劇が政権を通じて繰り広げられるということになります。

まだまだオーストラリアから目を離せませんね。

このかわら版、またはビザに関する質問、お問い合わせは



A.L.C. AUSTRALIA PTY LIMITED  
ABN: 91 053 572 311

住所: Suite 7, 155 Varsity Parade Varsity Lakes QLD 4227

電話: +61-7-5630-6505, Fax: +61-7-3319-6131

E mail: [info@alcvisa.com](mailto:info@alcvisa.com) Website: [www.alcvisa.com](http://www.alcvisa.com)

### ※お知らせ

名古屋・愛知県人会発足。「たまにゃーおんなじとこからきたもんばっかで、どっか集まって、八十日目ちよっとしゃべるまい。」ということで、名古屋・愛知県人会発足です。単なるお茶のみ、座談会ですが名古屋弁、三河弁しゃべりたくてうずうずしている方、日ごろの鬱憤を晴らしましょう。参加ご希望の方は下記連絡先から、または幹事のサーフショップ「レトリック」のカズ(0422-077-437)まで連絡ください。老若男女問わず。他都道府県からの方も歓迎、しかし赤味噌好きで、冷やし中華にはマヨネーズ、とんかつには味噌ダレというのが入会条件です。うみやあ、うみやあ。